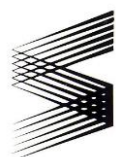


令和3年度

学校だより
令和3年 6月30日



さつきが丘

7月号 第339号

学校で 季節を感じる

学校長 金子 博美

正門の前のヤマモモの木にたくさんの実がなりました。ヤマモモは、5月中旬頃に花が咲き、6月頃に紅色から暗赤色に熟する常緑広葉樹です。今年の実は昨年よりも大きく、色も濃く鮮やかでした。さつきが丘小学校には、カリンやザクロ、アンズ、ウメなどの木がありますが、用務員さんの話によると、一番よく実がなるのはヤマモモだそうです。正門を通る子どもたちの中には、「これ、なあに?」「幼稚園にもあった」と興味を示す子どもたくさんいました。「食べてみたい」、「いいのかなあ」とヤマモモに向けられる視線は熱く、「校長先生、食べてもいいですか」との質問に、「みんなで食べられたらいいのにね」と答えると、ちょっと残念そうでした。共通のものに関心を寄せてあれこれつぶやく子どもの姿はいいものですが、いつまでも鈴なりの実をそのままにしておくわけにもいきません。カラスが狙っているかもしれません。枝から次々にヤマモモが落ちれば正門前も汚れてしまいます。なので、頃合いを見計らって用務員さんがきれいに掃除をしてくださいます。学校には、実のなる木が意外にたくさんあります。学習にも役立つようにと考えて様々な木を植えていることを、以前、先輩の先生に伺いました。30周年の記念誌には学校の四季を表す写真や樹木図なども掲載する予定です。ぜひ、楽しみにしててください。



【撮影】坂口好一教諭

6月24日に「青葉区 よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」が開催されました。テーマは「国際平和のために、自分がやりたいこと」。区内代表児童が2つのグループに分かれてそれぞれ集まり、テーマについて自分が調べたり考えたりしたことを言葉に乗せて伝え合いました。貧困、世界平和、気候変動など、各校の子どもたちが注目した話題はどれも大きなものでしたが、ポスターを作って呼びかける、なるべく木の製品を選んで使う、小さくなってしまった服を寄付する、思いやりと感謝を常にもつ・・・など、それぞれのスピーチには、具体的な思いや子どもならではの発想が詰まっていました。

本校代表6年3組諏訪新奈さんのジェンダー平等に関するスピーチ「みんなちがって みんないい」は、自分自身の中にある性別による思い込みを一度なくしてみませんか～という投げかけで始まります。～どんな性を生きていても、私たちが「自分らしさ」をみつけて、自由に歩いていける社会であれば、国境をこえて、みんなが笑顔になれると私は信じています。この気持ちをずっと大切にしていきます～という結びの言葉に、思いの強さを感じ、今、自分が思うことを大事にして自信をもって伝えようとする姿に感動しました。